ホームヘルパーの仕事とは…

介護が必要な高齢の方や障がいのある方などのお宅を訪問し、
必要な介護サービスを提供します。

身体介護

食事・入浴・排泄・着替えなどの日常生活動作の援助を行い、ご自宅で自立した生活ができるよう支援します。

生活支援

ご本人や家族が家事を行うことが困難な場合に行われるサービスです。提供する内容としては、調理・洗濯・掃除などの援助です。

介護人材不足の現状

厚生労働省の「介護サービス施設・事業所調査」によると、2023年度の介護職員数は約212万人となっています。
第9期介護保険事業計画による数値では、2026年度までに必要となる介護職員数は約240万人、2040年度までには272万人とされています。このことからも介護人材の不足は、社会的な課題となっています。
今回の特集は、在宅介護を支えるホームヘルパーの仕事の魅力を紹介します。

“ホームヘルパー”になるために…

ホームヘルパーになるためには資格が必要です。研修には大きく2つあります。介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）と、介護福祉士実務者研修（旧ヘルパー1級）です。事業所によっては、受講料を補助する制度があります。さらにキャリアアップを目指したい方は介護福祉士があります。

ヘルパーにインタビュー

Q なぜヘルパーの仕事を選びましたか？

A 子育てや、家庭の都合で、自分の時間を大切にしながら働ける仕事を探していたところヘルパーの仕事と出会いました。
すきま時間を活かして働ける柔軟さが魅力だと思います。

Q ヘルパーの仕事のやりがいは？

A 利用者さんからの「ありがとう」という言葉や笑顔に触れ、自分の仕事が誰かの生活の支えになっていると実感でき、やりがいを感じます。
その人らしい生活を送るためのサポートができることが、この仕事の魅力だと思います。
さまざまな立場の方と関わるなかで、人との接し方や思いやりの大切さを学べることもやりがいのひとつです。
日々の経験が自分自身の成長にもつながっています。

利用者さんにインタビュー

Q どのようなサービスを利用していますか？

A 週に１回、掃除や布団干しをお願いしています。

Q ヘルパーを利用して生活は変わりましたか？

A 利用する前は、他人が家に入ることに抵抗感がありました。
ヘルパーさんが来てくれることで、自分だけでは難しかったことができ、安心して住み慣れた家で自分のペースで過ごすことができています。
話し相手にもなってくれて心が落ち着き、楽しみができました。

ヘルパーの1日　A子さんの場合

8:00

小学生の子どもを送り出し、家の掃除や洗濯などの家事をします。

10:00

利用者さん宅へ訪問。体調をお聞きして、清拭を行います。

12:00

一旦自宅に戻り、昼食。友達と予定が合えばランチへ行くことも…。

13:30

利用者さん宅へ訪問。買い物代行業務。購入品のメモを確認し、買い物へ出掛けます。

15:00

自宅に戻り、洗濯物を取り込み、子どもが帰ってくるまでほっと一息。

15:30

子どもが帰宅。塾へ送っていき、そのまま買い物へ。買い物して子どもを迎えに行き、自宅へ戻り夕食の準備をします。

ヘルパー募集

時　間　1日30分～ ※勤務日・時間要相談

時　給　平日：1,120円～1,280円／土日祝：1,720円～
※資格手当、移動手当、その他加算金、別途支給有

資　格　介護福祉士、介護職員初任者研修修了者
※資格のない方は、介護職員初任者研修受講料の一部を助成する制度があります（要相談）。

働き方例

非常勤訪問介護員（時給1,280円）
（例）1日2時間×週5日勤務の場合 → 月給 86,200円
51,200円（1,280円×2時間×20日）＋諸手当35,000円

非常勤登録訪問介護員（時給1,120円）
（例）1日2時間×週2日勤務の場合 → 月給 28,920円
17,920円（1,120円×2時間×8日）＋諸手当11,000円

問合せ　知多市社協ヘルパーステーション
0562-39-1050
くわしくはこちらをご覧ください ▶▶▶

HP　チラシ